

茨城大学 研究・産学官連携機構シンポジウム

茨城大学が拓くグリーンテクノロジーの未来

茨城大学では20年以上にわたり、気候変動適応・緩和研究の実績を積み重ねてきました。2006年、気候変動の影響予測に基づく適応技術・政策・ビジョンの提示と適応策を担うことを目的として、地球・地域環境共創機構（GLEC：2020年に設立）の前身となる地球変動適応科学研究機関（ICAS）が設立され、2023年にはカーボンリサイクルエネルギー研究センター（CRERC）、2024年に原子科学研究教育センター（RECAS）という緩和研究の拠点を整備し、2025年度にはグリーンバイオテクノロジー研究センター（Gtech）を新しく設置する予定です。

茨城大学では、適応策と緩和策の強みを生かしたCRD（Climate Resilient Development：気候にレジリエントな開発）を目指して、研究活動を展開する方針とされており、今後も大学として、適応と緩和の両面から気候変動科学を推し進めていきます。今回のシンポジウムでは、気候変動対応に取り組むセンターやその研究、また課題について議論を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時

2024年12月24日（火）15:30～17:10

場所

水戸キャンパス図書館3階ライブラリーホール
及びMicrosoft Teamsによる配信

事前登録制

内容

開会挨拶 太田 寛行 学長

講演「総合気候変動科学創出に向けた茨城大学の取り組み」

金野 満 理事・副学長（学術）

新センター「グリーンバイオテクノロジー研究センター（Gtech）」のご紹介

小松崎 将一 農学部教授

西澤 智康 農学部教授

パネルディスカッション

パネリスト

戸嶋 浩明 地球・地域環境共創機構長／農学部教授

岩佐 和晃 原子科学研究教育センター長／理学部教授

田中 光太郎 カーボンリサイクルエネルギー研究センター長／工学部教授

小松崎 将一 Gtech準備委員会委員長／農学部教授

モデレーター

土屋 陽子 研究・産学官連携機構 教授

閉会挨拶 倉本 繁 副学長（研究・産学官連携）

参加



問い合わせ先：茨城大学 研究推進課

TEL：029-228-8417

Email：kenkyu-kikaku@m.ibaraki.ac.jp

以下リンク又は上のQRコードよりご参加ください

<https://events.teams.microsoft.com/event/830f9530-2a0b-4d81-bfe5-97355f4c51d5@1eb20313-c289-413b-8ab9-146f41fff73b>